

+ 目次



- 1. 3月22日需給逼迫の概要 (事実関係)
- 2. 需給逼迫の要因分析
 - 週間予想と前日予想のずれ (急な寒波への対応)
 - 地震による電源脱落の影響
- 3. よくある誤解とファクトチェック
- 4. リスク対応 (今回の危機対応は適切だったか?)
- 5. まとめ (今回の教訓と今後の課題)



需給見通しの変化 (東電PG提供資料)



(3月22日の需要見通しの変化と対応策)

見通し策定時刻 3月19日20時 → 3月20日21時 → 3月21日17時

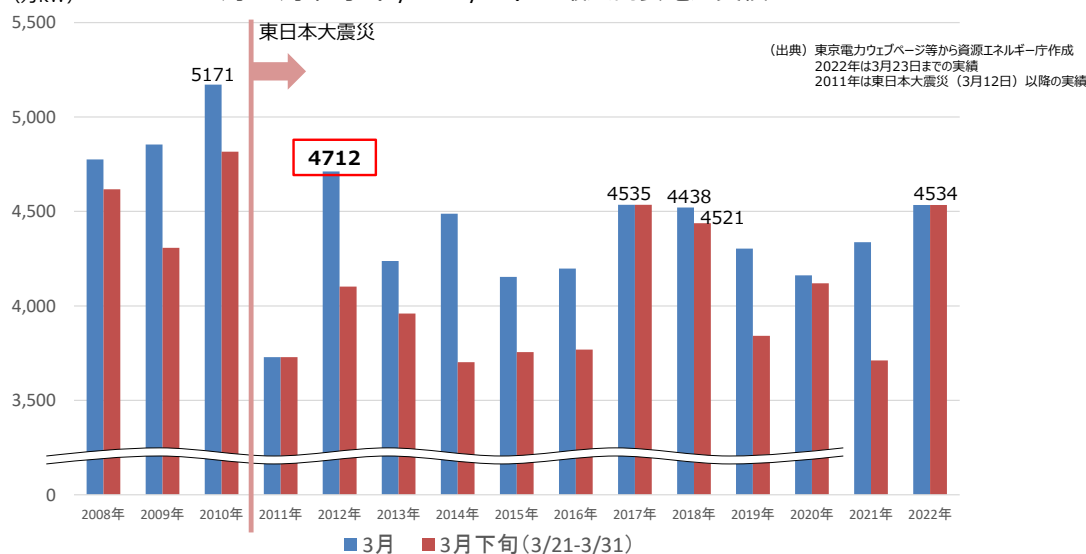
需要見通しの変化	最大需要発生時刻	11~12時	16~17時	16~17時
	最大需要電力【万kW】	4,300	4,694	4,840
	最高気温/最低気温【℃】	9.4/6.7	3.8/3.1	3.8/2.0

(出典) 東京電力パワーグリッド

【参考】東京エリアにおける3月の最大需要電力

- 3月22日の前日17時時点での想定最大需要電力(4,840万kW)は、**東日本大震災以降の3月の最大電力需要(4,712万kW)より100万kW超高い水準。**
- 22日の節電後の最大需要電力(4,534万kW)は、3月下旬としては、震災以降、最高水準。

<3月と3月下旬(3/21-3/31)の最大需要電力実績>



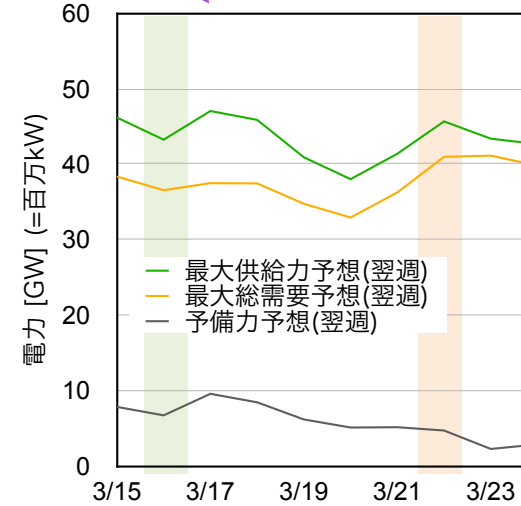
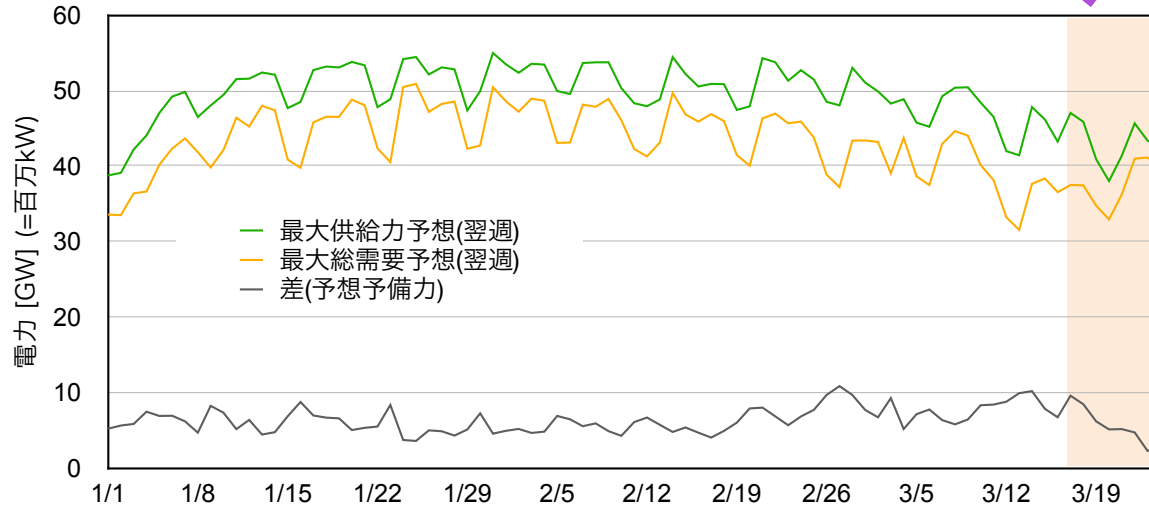
(出典) 経済産業省: 第46回電力・ガス基本政策小委員会 資料3-1, 2022年3月25日
https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku_gas/denryoku_gas/pdf/046_03_01.pdf



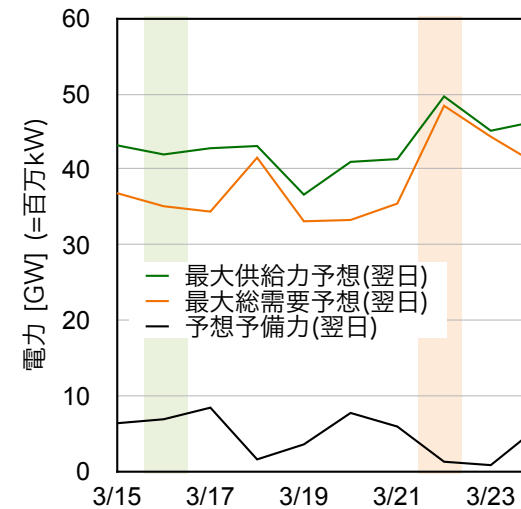
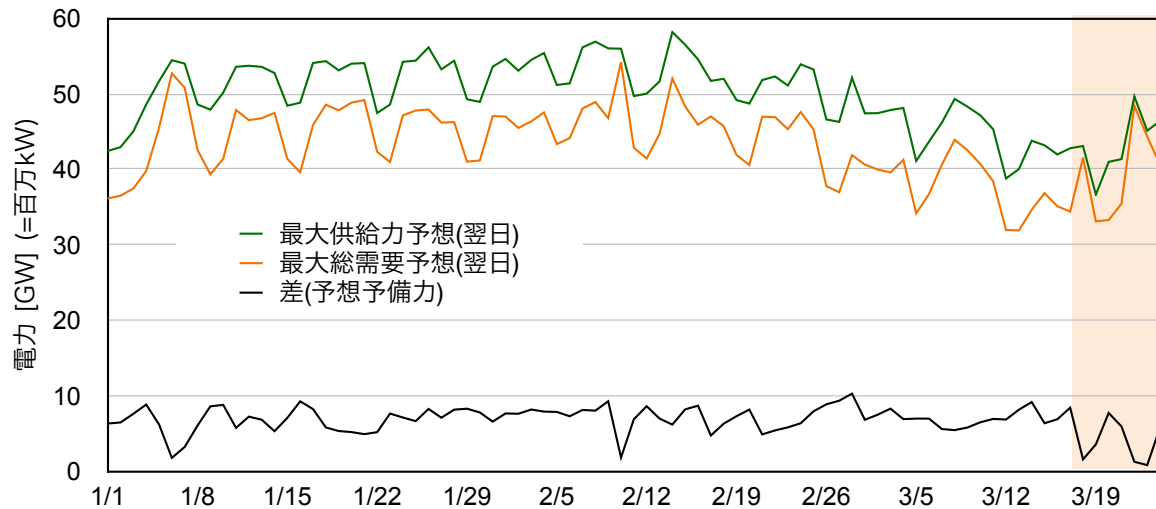
最大需要・供給力予想 (需要と供給力の比較)

拡大

1週間前の予想



前日の予想



1週間前の
段階では
予備力も3%
以上と予想
されたが...

突然の
寒波で
需要急増

前日予想
予備力が
減少!



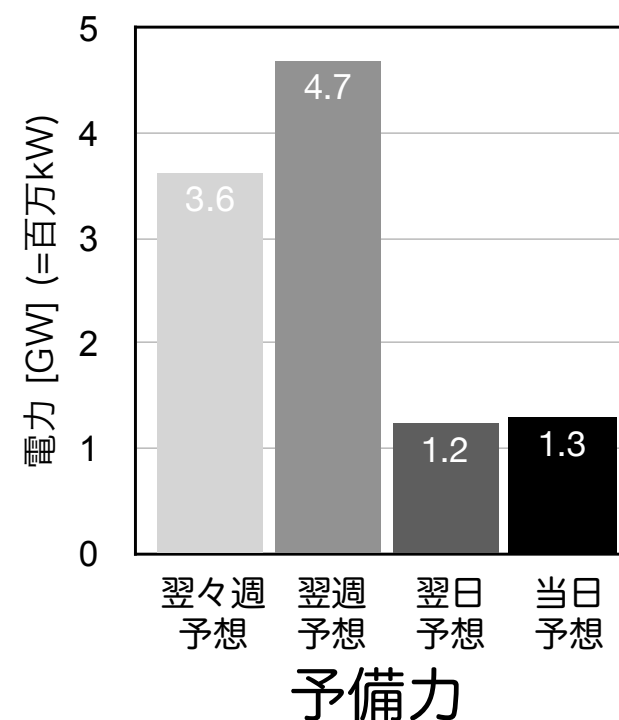
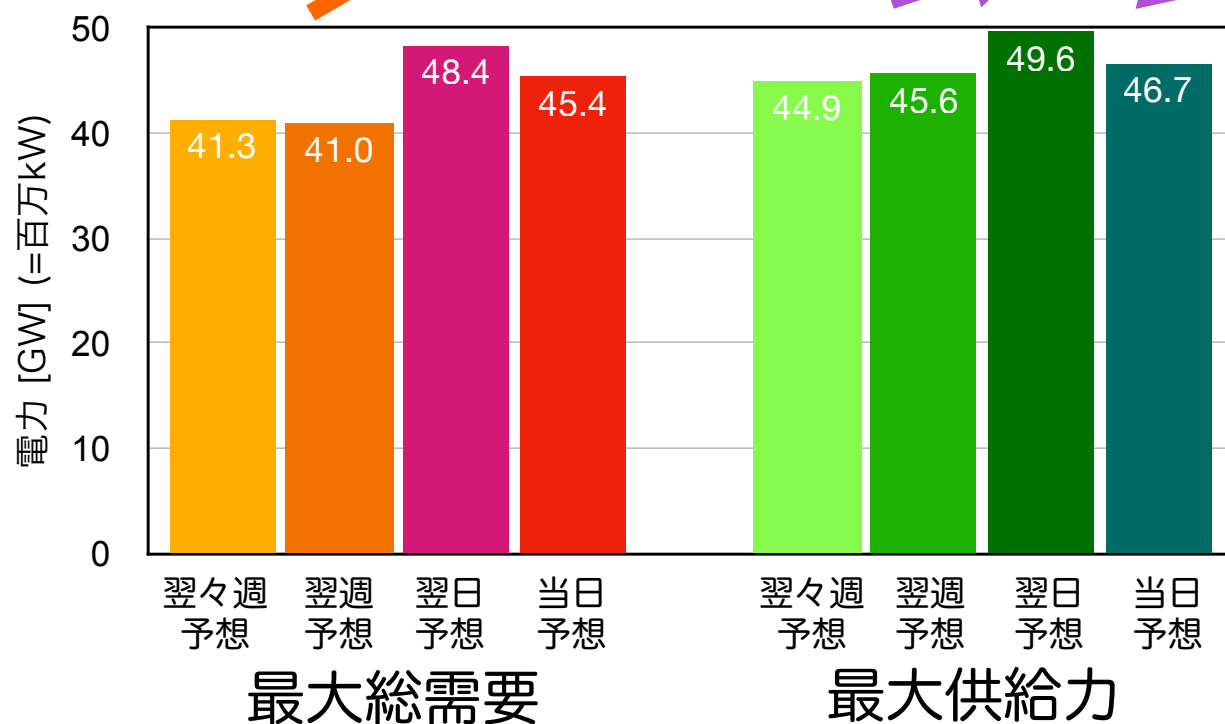


+ 最大需要・供給力予想 (東京エリア) (予想時点毎の比較)

突然の寒波により需要の予想が
1週間前より**7GW**増えた！

幸い、供給力の
予想も1週間前
より**4GW**増えた

需要および供給力の
当日予想が前日
予想よりそれぞれ
3GW減った理由は
調査中



(データソース) 電力広域的運営推進機関: 情報ダウンロード > エリア・広域ブロック情報 > 需要予想・ピーク時供給力

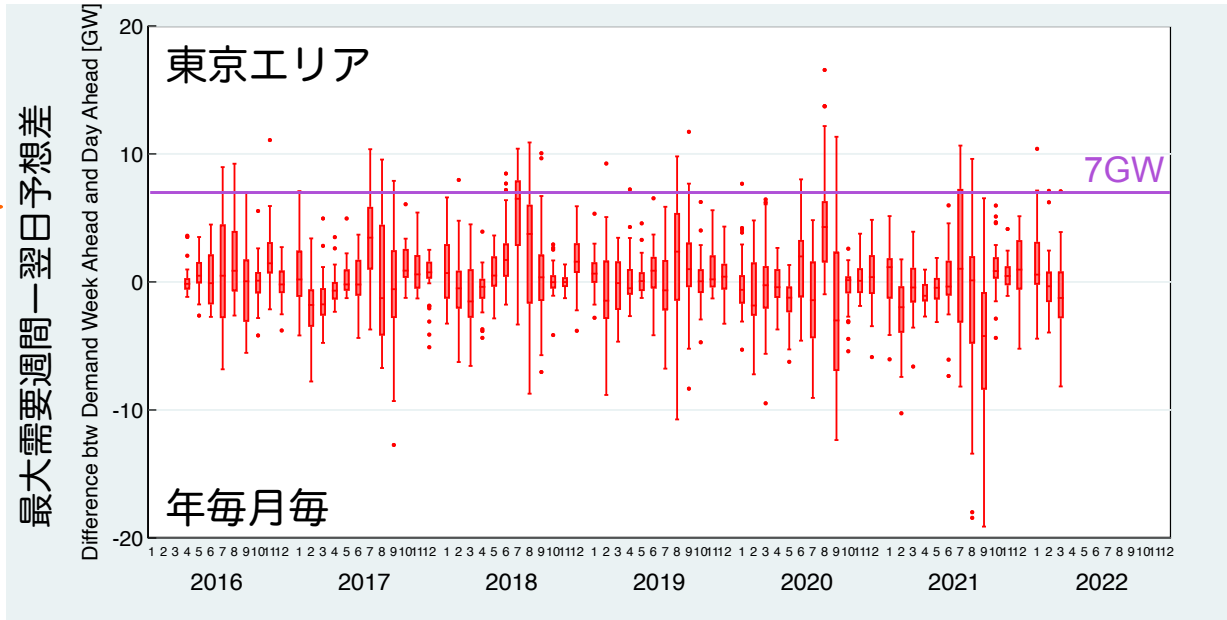
https://occtonet3.occto.or.jp/public/dfw/RP11/OCCTO/SD/LOGIN_login#



最大需要週間予想と翌日予想の差



最大需要翌日
予想が翌週
予想よりも
7GW以上
増えるケース
は過去何度も
あった



ただし3月期のみ
で見ると過去6年
間で初めての事象

箱ひげ図の見方

- 外れ値
- 最大値*
- 75%値
- 中央値
- 25%値
- 最小値*

* 厳密には、第3(第1)四分位から四分位範囲の1.5倍の上限(下限)境界内にある最大値(最小値)

